平成 28 年度　勝山市地方創生総合戦略及び地方創生交付金等事業における外部評価結果について

1　評価の実施について

地方創生の推進にあたっては、国から、効果的な PDCA サイクルの構築により地方創生総合戦略自体とそれに係る交付金等事業の効果検証を行うこととされている。

本市においては、勝山市地方創生総合戦略と市が採択を受けた地方創生交付金等事業に係る平成 28 年度の事業進捗状況について、外部有識者により構成された「勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」による外部評価を実施した。

2　評価基準

（１）内部評価

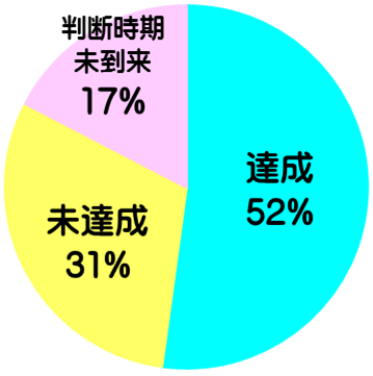
勝山市地方創生総合戦略及び地方創生交付金等事業の重要業績評価指標（KPI）の評価結果について

① 勝山市地方創生総合戦略の重要業績評価指標（KPI）の評価結果（23 項目）

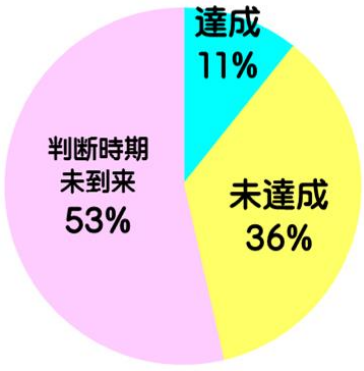
② 地方創生交付金等事業の重要業績評価指標（KPI）の評価結果　（28 項目）

※目標値に対する実績結果により「達成」、「未達成」、「判断時期未到来」を判定

① 勝山市地方創生総合戦略のKPI評価結果



② 地方創生交付金等事業のKPI評価結果



（２）外部評価

外部評価は、本市が平成 28 年度に取り組んだ地方創生に資する各事業とその結果である重要業績評価指標（KPI）について、産官学金労言の代表者により構成された「勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」が客観的に評価を行ったものである。

評価にあたっては、効果検証調書（資料 1・資料 2）を参考に担当部課長及び事務局からの説明の後、有識者目線による効果検証を行なった。

委員から提出された各事業や重要業績評価指標（KPI）に対する多数の意見を資料の「委員の意見欄」に記載し、今後の政策推進の参考とする。

勝山市地方創生総合戦略　平成28年度効果検証調書

資料１

No	担　当　課	担当課	頁
重点戦略１	ジオパークの豊かな自然と歴史の中に暮らす魅力を高めて、定住化を促進する	ふるさと創生・移住課 ジオパークまちづくり課 農業政策課 未来創造課	1
重点戦略２	勝山市の地域資源をさらに磨き、Ｕ・Ｉターンに向けた多様な仕事と需要を生み出すなど、多様なチャレンジが可能な仕組みをつくる	観光政策課 商工振興課 農業政策課 林業振興課 ジオパークまちづくり課	3
重点戦略３	縁結びから子育て、教育まで、充実した環境の中で、勝山を誇れる次の世代を育てる	健康長寿課 福祉・児童課 学校教育課 未来創造課	5
重点戦略４	豊かな地域コミュニティの中で、いつまでも健康で、安全・安心に暮らせるまちを創る	健康長寿課 市民課 観光政策課 総務課 建設課 ジオパークまちづくり課 未来創造課	7

重点戦略1　ジオパークの豊かな自然と歴史の中に暮らす魅力を高めて、定住化を促進する

① 重点戦略に係る数値目標（KPI）

No	重点戦略に係る数値目標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	転入者人口（人）	目標値	―	427	431	435	439	443	未達成	●転入者の属性（転入元・転入理由・年齢等）を把握し、取り組むべき施策の参考とすべき。 ●重点戦略数値目標（KPI）の1項目で目標値を達成し、重点施策の各施策は有効であったと思われる。移住者への魅力周知だけでなく、移住者を受け入れる地域住民の丁寧な理解醸成も必要ではないか。
		実績値	423	433	420					
2	うち市の支援を受けて転入した人の数（人）　※H27～H31累計	目標値	―	3	4	12	16	20	達成	●支援策について、明確なターゲット（年齢層など）を持つべきではないか。 ●支援の効果が大きく表れる取組みなのか。事業効果を分析しながら、継続すべき施策である。
		実績値	3	3	10					

② 重点施策

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	ふるさと勝山への移住・定住促進に関する情報発信の強化	ふるさと創生・移住課	○移住定住ポータルサイトによる情報発信 ○首都圏・関西圏での移住フェア等での情報発信	○情報発信のさらなる強化に向けた、新たな移住促進コンテンツ（ポスター・パンフレット・マップ・動画など）を作成	●これまでにU･Iターンをしてきた方に、メンターとして関連事業に関わっていただき、市が全面的に協力するような体制の構築を。 ●定住化促進事業のうち住宅取得やリフォームに係る助成については市内建築業者が対象となっているが、業者も少なく、顧客ニーズは市外業者となるケースが多いため、そういったケースの対応もできるようにしてはどうか。
2	Ｕ・Ｉターン者の住まいや仕事探しに向けた支援の強化	ふるさと創生・移住課	○福井労働局と勝山市との雇用対策協定に基づき連携してU・Iターンを促進（市内企業の周知活動等） ○勝山市宅地建物取引業協議会との協定に基づき勝山市空き家情報バンクの拡充 新規登録10件、成約8件	○産業フェアで雇用対策運営協議会コーナー開設（就労やUターンに係る相談対応） ○空き家情報バンクの登録拡大	●他市町村と差別化した勝山市ならではの支援施策の検討を。さらには移住者へのサポートの強化を。 ●転入者が住宅ローンを利用して住宅を取得する場合、借入金額の3%（例）を補助する制度の創設。
3	勝山暮らし・田舎暮らし体験の充実	ふるさと創生・移住課	○お試し移住体験施設の活用 一軒家：件数12件、人数24名、日数160日 移住につながった件数1件（1名）	○お試し移住体験施設の充実による利用促進と利用者を移住につなげるための支援策の拡大	●長く住み続けてもらうあるいは、たくさんの方に訪れてもらうといった目標のもとに働きかけを行うのも重要ではないか。 ●と之蔵に泊まられたお客様の評価が高かった。勝山らしい住宅を提供するといいと思う。また、体験する活動のPR強化も必要である。 ●移住につながらなかった件についても、要因分析をする必要があると考える。
4	Ｕ・Ｉターンの促進に向けたインセンティブの強化	ふるさと創生・移住課	○平成29年度に向けた支援制度の構築	○支援制度のＰＲ （引越支援や通勤支援等）	●勝山から転出した人の割合として5割が福井市、4割県外、1割県内他市となっている。近くまで戻ってきても勝山に帰ってこないことを考えると、お金だけでなく魅力ある勝山市（特に若者にとって）のPRが重要となってくるのではないかと思われる。 ●勝山市教育資金利子補給制度の取扱件数が少ないため、自動車が必要不可欠となる福井県においては、Uターン者向けのマイカーローンに対する制度を創設してはどうか。利用者が増加するのではないかと思う。

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
5	地場産業への理解を通じた定住促進	ふるさと創生・移住課	○産業フェアやガンバル企業冊子（企業紹介誌）などで地場産業をPR	○中学生とその保護者向けの企業（産業）紹介誌の発行 ○市ホームページでのPR	●がんばる企業の冊子の内容に従業員の生の声を記載すれば、企業のPR強化につながる。 ●がんばる企業の冊子は、企業自らの情報ツールとして有効。大野市を含め、県内高校・大学への積極的に配布すべきである。 ●大野市の企業紹介冊子はクリエイティブであり、若い方のも共感いただける内容となっている。勝山市の物もそういった観点を意識してほしい。 ●勝山高校を巻き込み、高校生向けの施策を強化すべき。
6	若い世代の流出抑止に向けた専門学校等の誘致	未来創造課	下記の事業により交流人口等を拡大 ○小原ＥＣＯプロジェクトが福井工業大学と連携して実施する古民家再生事業等の活動を支援 ○福井工業大学が実施するブランディング事業（宇宙がテーマ）における連携策の検討 ○福井県立大学生受入（ソーシャルワーク実習）や福井大学医学部との共同研究（ハイブリッドクラウド型地域医療連携システム）	○専門学校や大学の誘致はすぐに実現することではないが、協定を締結した大学と連携した研究事業や交流事業を積極的に実施する中で、その可能性を模索する。	●県外の大学等と協定を結び、研究事業や交流事業に積極的に取り組んで欲しい。特に、協定大学と連携し、学生ニーズを聞く場を持つとよいと思う。 ●人口規模から考えると教育機関の誘致実現は不可能だと考える。福井大・県立大・福井工大とのタイアップ事業による「若者が注目するまち」のイメージアップを図ってほしい。
7	国の機関や県等と連携した事業展開	ふるさと創生・移住課	○福井労働局と勝山市との雇用対策協定に基づき運営協議会を開催し、U・Iターンを促進 ○県ふるさと福井移住促進機構に参画し、移住就職フェア（東京・大阪）に出展 ・県補助事業「新ふるさと創造推進事業」を活用した事業展開	○雇用対策運営協議会を開催し、具体的な取組みを計画・実施 ○県ふるさと福井移住促進機構への参画による移住者情報の把握や県補助事業による移住者確保の取組みを実施	●地方創生という視点からでなく、一定のレベル確保に向けた動きとしては、県や国等の機関から情報を収集することは大切だと思う。
8	魅力ある定住先としてのジオパークの魅力発信	ジオパークまちづくり課	○市内にある地域資源を市民の主体的な活動により保護・保全し、それらをつなぎ合わせたジオツアーを実施した。 　また、地域資源を活用したジオパーク学習を行うことにより、市外への魅力発信と愛郷心の醸成を図った。 市民による主体的なまちづくり活動への助成研修　26事業 市内小中学校を対象としたジオパーク学習の実施　11回 自然体験学習の実施　参加者数　1,419人 ガイド養成講座参加者数　16人	○ジオパーク学習に関して徐々に回数が増えてきたが、まだまだ十分とは言えない。小学校に加えて中学校に対するジオパーク学習は徐々に進んできているが、高校にまでは広がっていないので、今後も取組みを続けていき、自分達の住んでいる地域の価値を再認識できるような学習機会のさらなる提供により、愛着と誇りを醸成していく。 ○ジオガイドの不足を解消するため、引き続きガイド養成に取り組んでいく。	●地域農産物の積極的な活用により、食を通じて勝山ならではの魅力を発信していけたらいいと思う。 ●地域農産物の積極的活用。（GI登録など） ●勝山市でなければ体験できないことを盛り込んでいただきたい。

③　重要業績評価指標

No	重要業績評価指標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
1	田舎暮らし体験者数（人） ※H27～H31累計	目標値	―	100	200	300	400	500	達成	●体験者をいかに成果に結びつけるか検討してほしい。 ●目標に対して実績が倍近い数字となっているが要因を把握するように。 ●個人的な意見になるが、Iターンを期待するよりもUターン策を強化した方が効果が上がるのではないかと思う。どちらに特に比重を置くのか明確にした方がよいのではないか。
		実績値	98	198	380					
2	市内企業説明会に参加した勝山市の高校生の人数（人）	目標値	―	42	44	46	48	50	未達成	●受入企業や学校との連携強化が必要。 ●高校生は、広く知識をを吸収するため、数値にはこだわらなくてもいいのではないか。 ●実績が上がらない最大の要因を把握するように。
		実績値	38	21	22					
3	ＵＩターンに関して国や県と連携して行った事業数（件） ※H27～H32累計	目標値	―	1	2	3	4	5	達成	●事業がU･Iターンの件数（実）につながったのか、分かりにくいのではないか。
		実績値	―	2	5					

重点戦略2　勝山市の地域資源をさらに磨き、U・Iターンに向けた多様な仕事と需要を生み出すなど、多様なチャレンジが可能な仕組みをつくる

① 重点戦略に係る数値目標（KPI）

No	重点戦略に係る数値目標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	観光入込客数（万人）	目標値	―	175	180	186	193	200	達成	●第2恐竜博物館誘致は不可欠である。 ●市内宿泊客数の把握も重要である。
		実績値	171	203	199.5					
2	観光消費額（億円）	目標値	―	28	29	30	32	34	達成	●重点戦略数値目標（KPI）の2項目ともに目標値を達成し、重点施策の各施策は有効であったと思われる。地域住民が主体となった観光振興、雇用につながる観光商品の開発があればなお良く、そのあたりの施策もほしいのではないか。
		実績値	27	27.67	32.5					

② 重点施策

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	観光まちづくりを進めるDMOの形成	観光政策課	○平成28年6月に勝山市観光まちづくり株式会社設立。 年度内に事務職員を雇用し、旧料亭花月楼のリノベーション事業を行う。	平成29年4月より本格的にリノベーション後の花月楼営業を開始。CMO、事務局長を雇用し、平成29年度中にDMO推進協議会を立ち上げ、年度内に日本版DMO候補法人としての登録を目指す。	●DMO推進協議会の活性化が必要。 ●「ハコモノ」「組織」はできた。今後の業務に期待。 ●花月楼への道案内が難しく、分かりやすい道路標識があるとよい。
2	勝山市の地域資源を活かした観光・交流拠点の整備	観光政策課	福井県の補助事業の採択を受け、旧料亭花月楼の改修を実施した。また、恐竜博物館前の駐車場に飲食・物販と観光交流機能をもつ新たな施設「ジオターミナル」の建設準備を進めた。	花月楼のオープン（４月）により新たなまちなか誘客を図る。ジオターミナルの完成に向けて、観光交流施設として必要な準備を、かつやま観光まちづくり株式会社と協議しながら進める。	●地方には魅力的な場所が多く存在している。40代前後からの中高年層をターゲットにするのも有効である。 ●花月楼周辺のまちなか整備が必要。花月楼で食事をして終了ではなく、周辺観光をしたくなるようなまちづくりをお願いしたい。
3	観光における他市町との連携	観光政策課	福井県の補助事業の採択を受け、大野市、永平寺町と一体として、周遊・滞在型観光推進エリア創出計画を策定。また、同エリア内の観光地で観光動態調査を実施し、データの分析から課題についてまとめた報告書を作成した。	平成29年度以降は、2市1町が協力してイベントを開催。また、30年度以降に向けて新たな周遊観光事業を協同で計画していく。	●PR動画「WHITE HEALING」はすばらしく、FB等で短縮動画の編集を行い発信すると効果的ではないか。 ●勝山市で補完できない魅力について、真摯に尊重し、協力し合うためのコンセンサスが必要だと思う。 ●奥越を一体的に周遊することができる観光プランの作成を。
4	インバウンド観光の促進	観光政策課	越前加賀宗教文化街道推進協議会については平成28年に発展的解散し、同じ構成市町のままで越前加賀インバウンド推進機構として新たに設立。地方創生推進交付金を活用し、6年スパンでインバウンド観光推進を実施する計画を策定した。	平成29年度よりインバウンド対応として「受け入れ体制整備」、「広域連携による商品開発」、「共同プロモーション」、「観光ビジネスモデルの構築」の事業を実施していく。	●北陸新幹線県内延伸を踏まえ、インバウンド対策を強化すること。また、今後のPRに大いに期待したい。 ●即座にビジネスモデルに結び付けるのではなく、実効性のあるツアーを開催し、問題点の洗い出しをしてみることも必要である。 ●カード決済の利用可能な店舗の拡充が必要である。
5	観光の産業化に向けた特産品・土産品開発と新たな勝山ブランドの創造	商工振興課	○JAテラル越前のキク部会が、関西をはじめ県外に発送される勝山産のキクの箱に、恐竜の図柄とジオパークのロゴを印刷し、恐竜のまち勝山をPRする出荷箱を開発。県外の市場関係者からは、箱を見て、勝山が恐竜のまちだと初めて知ったとの反応がある。今後も引き続き、この出荷箱を活用した勝山産のキクのPRに努める。	○平成29年度から「かつやま逸品開発・販路開拓事業補助金」に代わって、勝山市内の地場産品・特産物を活用した土産物の開発、販路拡大に特化した「勝山市おもてなし商品開発等支援事業補助金」を設ける。 ○平成30年3月の「ジオターミナル」や平成32年度にオープン予定の「道の駅」で販売できるよう、勝山オリジナルの土産物開発の促進を図りつつ、補助金制度を周知し、意欲的に開発に取り組む事業者の掘り起こしに努める。	●補助金制度の拡充により、売れる商品作りの研究や商品開発後の販路開拓を含めたPDCAによるフォローアップ体制を構築すべき。 ●食を通じて地域をPRする活動は引き続き必要である。チャマゴン米等チャンネルを増やす必要があると考える。 ●開発がまだ進んでないようであれば、道の駅でしか購入できないオリジナル商品を考えていくべきだと思う。まちづくり会社を中心として、複数の事業者による共同開発を行うのもよい。

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
6	農業における収益性と魅力の向上	農業政策課	かつやま逸品開発・販路開拓事業において、市内の１団体が補助金を活用して１品の商品開発をした。また、市内の認定農業者が６次産業化事業補助金（ハード整備）を活用して食品加工機械の整備を行った。	市内事業者や農業者等に、平成32年オープン予定の「道の駅」を視野に入れた地域の特色・魅力ある商品開発に取り組んでもらうことで、農業における収益性と魅力の向上を図る。	●国が提唱する集約化による収益向上は勝山には当てはまりにくく、雪国ならではの雪室等を活用した、付加価値の向上策を考えていくべきではないか。 ●一度、市外業者の商品も見てみてはどうか。魅力的なものがたくさんある気がする。
7	金融機関と連携した地元企業の支援	商工振興課	中小企業振興対策資金　30件　180,880,000円 小規模企業振興対策資金　12件　35,150,000円 新規開業資金　1件　5,000,000円	今後も、勝山市内の金融機関と連携し、中小企業者等にとって使いやすい制度とし、商工の振興につなげたい。	●中小企業者の改修支援が少ないように思う。（特に個人事業主） ●利子補給期間を現状の3年から全期間へ延長することはできないのか。また、大雪に係る制度融資を創設してはどうか。 ●中小企業振興対策資金は顧客の評判もよく、今後も継続を。
8	市民のチャレンジを応援	ジオパークまちづくり課	○これからまちづくりに参加をしていく若者グループや地域で活動する女性グループ等が実施する幅広いジャンルの新規事業を助成対象とする「わがまち魅力発酵事業ジオパークチャレンジ事業」に5団体からの申請があり、それぞれの取組みに助成した。	○前年度と比較して申請団体数が半減したが、これは同一団体の申請は2ヶ年度を上限としていることや、事業規模を拡大して他の助成制度を活用した団体があったことが要因である。 ○今後も新規団体が助成制度を活用できるようＰＲに努めていきたい。	●趣味の延長にならないよう、しっかりした事業計画づくりが重要である。 ●市民のチャレンジに対する資金面の支援は、行政とともにまちづくり会社も積極的に関わるような体制を構築してほしい。 ●申請団体の平均年齢を一度検証し、若者の団体を主体として「忙しいけれど1日だけ盛り上がりたい」というイベン等ども応援してみてはどうか。

③ 重要業績評価指標

No	重要業績評価指標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
1	勝山市中心市街地への入込客数（万人）	目標値	―	27	27	30	33	40	未達成	●市民レベルによるおもてなし意識の醸成を図る施策が必要である。 ●中心市街地における駐車場の整備が必要ではないか。 ●中心市街地を新たな観光地にするしかないかと思う。マルシェなどその地域の人が観光客に魅力をアピールする必要がある。
		実績値	27	24.7	22.8					
2	新たに設置する勝山市版DMOの数（組織）	目標値	―	―	―	―	―	1	判断時期未到来	―
		実績値	―	―	―					
3	勝山市における外国人延べ宿泊者数（人）	目標値	―	1,860	1,890	1,930	1,980	2,050	達成	●勝山市としてターゲットは欧米なのかアジアなのか明確にしたほうがいいような気がする。欧米のほうが落とす金額は大きいのではないか。
		実績値	1,840	3,499	2,689					
4	新たに開発した「かつやま逸品」の数（商品） ※H27～H31累計	目標値	―	13	14	14	15	15	達成	●販路開拓に向けたブランド戦略と情報発信の強化を。
		実績値	13	16	17					
5	鳥獣害による被害面積率（%） ※米、麦、そばの作付面積比	目標値	―	1%以内を維持	1%以内を維持	1%以内を維持	1%以内を維持	1%以内を維持	未達成	●鳥獣害には、水際対策が絶対条件である。引き続き、行政の支援をお願いしたい。
		実績値	1.37%	1.59%	1.88%					
6	市内中高生および若者によるまちづくり団体への助成件数（団体） ※H27～H31累計	目標値	―	16	23	31	40	50	達成	
		実績値	10	18	26					

重点戦略3　縁結びから子育て、教育まで、充実した環境の中で、勝山を誇れる次の世代を育てる

① 重点戦略に係る数値目標（KPI）

No	重点戦略に係る数値目標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	合計特殊出生率	目標値	―	―	―	―	―	1.65	判断時期未到来	―
		実績値	1.53	―	―					

② 重点施策

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	婚活情報発信等の強化	福祉・児童課	○Facebook、市内飲食店内でのチラシ掲示（トイレなど）、市広報、フリー情報誌を通じた宣伝 ○市内の企業を訪問し、人事担当者等に結婚相談やイベントの紹介のほか、参加に向けた職場理解を得られるような雰囲気づくりに取り組むよう働きかける。 フリー情報誌　4回掲載 企業訪問　12企業（イベント参加者あり）	企業への宣伝は効果はあったので、今後も企業への従業員へのイベント等紹介を実施予定	●生活環境など総合的な提案が必要。 ●今回、まちづくり会社とともに婚活イベント行っていたが、とてもおもしろい企画だと思う。今後も期待したい。
2	地域行事・活動等を通じた出会いの場の創出	福祉・児童課	○結婚相談員による相談 第1・3木曜日　午後1時～3時30分 第2・4木曜日　午後6時～8時30分　160件 ○男女の交流イベント　2回 市外（スポーツラフティングとそば打ち体験の交流会　20名） 市内（クリスマスリワッグ作成と食事会による交流会　14名） 料理教室（4回実施　45名）	○国勢調査結果から、生涯未婚率については30代前半までに結婚しないと未婚となる可能性が高いことが分かっている このため、婚活等のイベントには成人式実行員会OBの方にも参画してもらい、今後の企画に対し、新鮮な案をもらう予定 ○料理教室やスポーツを取り入れた体験型イベントは継続予定	●勝山市の地域環境を熟知した第三者に事業の委託を。40歳以上の未婚率も上昇している。イベント等の参加条件には年齢制限の検討を。 ●スポーツなど達成感を共有するイベントはシンパシーを生むため効果的だと考える。 ●生涯未婚者だけでなく、シングルマザーやシングルファザー、再婚者のためのカップリングも必要ではないか。 ●イベント企画への成人式実行委OBらの参画は良案だと思う。イベント企画段階から広く若者を巻き込みたい。
3	子育て支援の充実とPRの強化	健康長寿課	○子育て世代包括支援センターの開設に伴う個別相談の実施により、すこやか育児相談の利用者が昨年の約2倍に増加した。 ○にこにこ妊婦奨励金の交付者数は増加しており、妊娠届出者数に対する割合も過去最多であった。	○子育て世代包括支援センターの周知が、まだ十分でないため、更にPRをしていく。 ○新たに、福井勝山総合病院と連携し、産婦健診（産後2週間健診、1か月健診）を実施する。	●子育て環境の充実は勝山市の先進的な分野で、すごくすばらしいと思う。他の自治体に先行してほしい。
4	子育てしながら働く女性への支援	未来創造課	○ハローワーク主催の女性のための再就職支援セミナーの開催を支援 ○市HPにおいて市の子育て支援に関する情報をまとめたページを新たに作成し、情報発信を強化	○子育て期の男性への支援が女性の支援にもつながっていくことから、市子育て支援センター等の関係機関と連携し、家事参加や育児休業取得の促進に係る事業を展開していきたい。	●男女共同ネットワークの活動により、各社の取組み状況を継続的に発信すると良いのではないか。 ●子育てはいまだ女性がするものだという意識が根強く残っている。企業としてもその意識を払拭する取組みが必要。市・企業・世間の意識が変わらなければならない。 ●男性の働き方に対する改革・支援も今後、重要となってくるのではないか。
5	地域医療体制の充実・確保	健康長寿課	○福井勝山総合病院と連携を密にし、病院機能のPRや利用促進に向けたにこにこ妊婦奨励金事業等の各種事業を展開した。 ○市民がかかりつけ医を持つことを推進するため、講演会（2回）の開催や広報紙の普及啓発記事の掲載を行った。これにより、かかりつけ医を持つ市民の割合は高くなっている。	地域医療を守り二次医療圏を維持するため、市民へ地域医療に関する現状を啓発し、地元でかかりつけ医をもつことの意義を周知していく。	

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
6	特色ある教育の推進と情報発信の強化	学校教育課	より地域に根付いたＥＳＤの実践 ・地域コーディネーターの任命（成西小、勝北中） ・ジオパークまちづくり課との連携 ・勝山中部中が「環境美化教育優良校」受賞 先進的な英語教育の実施 ・年間２４回の英語授業を県内外に公開し、研究と成果を発信 ・年３回の連携会議および相互授業参観による小中高の連携推進 各校ブログの強化 ・担当者研修会にて発信項目を検討、各校で整備	○地域に根付いたESDを深化させるために、平成29年度以降に全小中学校に地域コーディネーター委嘱を目指す。 ○「話せる英語」を中心として「聴く」「読む」「書く」という4技能をバランスよく育成できる授業方式の研究・確立を行う。ALTとCIR、外国語活動支援員の有効活用を進め、担任および専科教諭の指導力向上を目指す。 ○大学や関連期間と連携し、特色ある教育を県内外に発信する。	●地域に根付いた教育はさらに強化すべきだと思う。勝山は素晴らしい環境だという事を子ども達に分かってもらうのが大切だと思う。 ●「先進的な教育」推進で子どもに重圧がかからないような視点も必要。

③ 重要業績評価指標

No	重要業績評価指標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
1	市への結婚相談件数（件） ※H27～H31累計	目標値	―	100	200	300	400	500	達成	●相談件数の増加要因の調査と分析結果の活用を。
		実績値	88	170	330					
2	市が支援したカップルの婚姻数（組） ※H27～H31累計	目標値	―	5	10	16	23	30	未達成	●支援以前の課題があるように思われる。若年者の定住が最重要課題である。
		実績値	5	5	6					
3	市内保育園の待機児童数（人）	目標値	―	0	0	0	0	0	達成	
		実績値	0	0	0					
4	出生数に対する勝山市出産連携事業を利用した人の割合（%） ※H27～H31累計	目標値	―	42	44	46	48	50	達成	
		実績値	40	35.6	50.3					
5	勝山市に住み続けたい。またはいったん離れてもまた帰ってきたいと思っている中高生の率（%）	目標値	―	―	―	―	―	65%	判断時期未到来	―
		実績値	53%	―	―					

重点戦略4　豊かな地域コミュニティの中で、いつまでも健康で、安全・安心に暮らせるまちを創る

① 重点戦略に係る数値目標（KPI）

No	重点戦略に係る数値目標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	勝山市の人口（人）	目標値	―	24,360	23,990	23,640	23,310	23,000	未達成	●人口減少の要因が気になる。特に社会減の推移は気になるところである。 ●重点戦略数値目標（KPI）は未達成だが、目標値には肉薄している。健康長寿の人口を把握するには介護認定を受けていない高齢者の調査が必要である。
		実績値	24,754	24,359	23,978					

② 重点施策

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議委員の意見
1	地域医療体制の充実・確保	健康長寿課	○福井勝山総合病院と連携を密にし、病院機能のPRや利用促進に向けたにこにこ妊婦奨励金事業等の各種事業を展開した。 ○市民がかかりつけ医を持つことを推進するため、講演会（2回）の開催や広報紙の普及啓発記事の掲載を行った。これにより、かかりつけ医を持つ市民の割合は高くなっている。	地域医療を守り二次医療圏を維持するため、市民へ地域医療に関する現状を啓発し、地元でかかりつけ医をもつことの意義を周知していく。	
2	健康長寿の推進	健康長寿課	○健康の駅湯ったり勝山を活用し、新たに健康カラオケ体操を使ったアンチエイジング講座を実施した。（実施回数：12回　参加実人数：48人　延218人） ○湯ったり勝山において、ボランティア講師による囲碁・将棋、輪投げ等の講座を実施したり、趣味や特技の披露の場を提供するなどして、高齢者の生きがいづくりを支援した。 ○「健康長寿！一番体操教室」について、広報やテレビでPRを行い、実施地区の拡大を図った。（8地区継続支援　1地区新規） **健康長寿！一番体操教室：高齢者の精神・肉体の健康に資する重りを使用したリズム体操**	○湯ったり勝山における介護予防講座や高齢者のいきがいづくりを支援するため、内容の充実を図る。 ○「健康長寿！一番体操教室」は、新しい地区の発掘と継続地区を支援する体制整備を行ない、継続地区をどんどん増やすことにより、筋力向上だけでなく、地域のつどいの場として、お互いの見守りにもつながるようにしていく。	●介護予防講座も良いが、お年寄りの方からやりたいことを聞いて、講座を開講してもらってはどうか。 ●今後も各地区へ出向く事業の継続を。
3	高齢者支援体制の充実	健康長寿課	○在宅医療・介護連携として、特に福井勝山総合病院と連携した研修会（2回）を行ったことにより、多職種の連携が深まった。また、ケア・ブレイクかっちゃまの活動を支援し、介護を通して医療・介護と民間事業所の連携が深まった。 ○認知症高齢者について、行方不明案件の早期発見対策として地域見守り事前登録（累計12件）を開始した。	○新たに、多職種の専門家が、ケアマネージャーやサービス事業者に対して助言を行う「地域ケア個別会議」を実施し、高齢者の自立支援を推進する。 ○H30の認知症初期集中支援チーム設置（認知症予防に向け医師等により組織）に向けた準備を進め、認知症の方の早期発見・早期診断につながるよう取り組む。 ○ケア・ブレイクかっちゃまの活動を支援し、高齢者の買い物支援と終活支援を行う。	
4	利用しやすいバス体系の整備	市民課	○「ケア・ブレイクかっちゃま」において、「お守りファイル」に「マイ時刻表」を綴じ込んだ。 ○ケア・ブレイクかっちゃまにおいて、公共交通に関するワークショップを開催した。 ○バス停留所位置図およびルートのウェブ公開を行った。 ○バス停留所に路線図を掲示、京福バス併設停留所のサインを統合した。 ○地元住民のニーズによりコミュニティバス「ぐるりん中部」「平泉寺線」「遅羽線」の時刻等を変更した。 ○「市内観光バス」の路線等の見直しを実施した。	住民ニーズを取り込んだバス路線の見直し、効率化を図る。また、バス利用促進のためのPR・利用促進を図る。	●人口減少、高齢化社会における将来の地域公共交通のあり方を具体的に検討していくべき。（例　デマンドバス運行） ●バスはもちろん必要だが、電動バイクの貸出や購入の際の補助制度の創設はどうか。 ●住民ニーズを探ることが現状の周知、改善にもつながると考える。

No	施策名	担当課	内容・実績（平成28年度）	課題と対応策（平成29年度以降）	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
5	市民が楽しめるレジャー施設・店舗等の充実・誘致	観光政策課	リノベーション中の旧料亭花月楼でビュッフェを実施し、ランチやお茶を楽しめる空間を造る。	旧料亭花月楼でビュッフェを実施し、ランチやお茶を楽しめる空間を提供。平成32年度オープン予定の「道の駅」における地域振興施設について協議していく。	●若者に需要がある施設が必要だと思う。まちづくり会社が現在、構想を練っているところである。 ●対応策に「花月楼」「道の駅」が記載されているが、それだけでは寂しいのではないか。
6	総合的防災体制の構築	総務課	総合的防災体制の構築に向け、下記の取組みを実施。 【H28実績】 ・地域防災計画の修正（避難情報の名称変更、公民館を一時避難所として開設する等） ・自主防災組織の新規設立　6組織 ・防災行政無線の増設　8基 ・各地区、学校等での防災出前講座等の実施　19ヶ所 ・勝山市総合防災訓練の実施（市役所周辺） ・防災資機材等の購入（簡易トイレ30基、非常用電源設備【発電機】21基、給水タンク5基、災害用プライベートルーム5基　ほか）	・H29は勝山市総合防災訓練を「ジオアリーナ」を主会場に行い、防災複合施設としての活用を図る。 ・引き続き、各地区、学校等において防災出前講座等を実施し、市民の防災意識の向上につなげるとともに、自主防災組織の新規設立を呼びかけ、地域を含めた総合的な防災体制の構築に努める。	●雪害への対策は不可欠である。 ●地域への働きかけの継続を。
7	雪と共生するまちづくりの推進	建設課 ジオパーク・まちづくり課	○雪に係る各種支援制度について暮らしのガイドブックや広報かつやまへの掲載を行い、地域への周知を図るとともに、区長には活動実績の写真を掲載したチラシを配布し、周知を図った。 ○消雪設備の地元管理にかかる助成金（6地区15施設　969ｍに対して4万円～217千円を支給） ○市道等の除雪活動の助成金（3地区増加22地区　5,177ｍに対し除雪延長に応じて225千円を支給） ○雪イベント（ソリゲレンデ）の開催（7/23） ○雪室貯蔵品の成分分析実施（貯蔵方法をH27から変更） ○雪の市民会議開催（7/15・16） ○麺類組合による雪室ソバ提供 ○商標の登録出願「奥越前かつやま雪室」	○暮らしのガイドブックや広報かつやまへの掲載を行い、地域への制度周知を図るとともに、各区長には活動実績を分かりやすく紹介したチラシを配布し、引き続き制度の周知を図る必要がある。 ○H28に試行的に実施した簡易消雪路線については課題を整理し、地区の合意が得られれば、本設として施設の整備を行う。 ○雪イベントを今後も引き続き実施していくのか見当が必要。 ○雪室ソバ等のPRによる雪室貯蔵品のブランド化 ○雪室に係る商品の評判がよく、市外事業者の事業参画も視野に入れていく。	●高齢化が進む中、寒波による生活面への影響が大きい。流雪溝の整備拡充を。 ●融雪設備の設置は、簡易融雪も含めてさらに進展していくといいと思う。

③ 重要業績評価指標

No	重要業績評価指標（KPI）	項　目	平成26年度（基準値）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度（目標値）	達成度	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議 委員の意見
1	防災行政無線整備率（%） （音声が到達する戸数率）	目標値	―	82%	84%	87%	90%	―	達成	
		実績値	80%	90.70%	94.10%					
2	市内自主防災組織数（組織）	目標値	―	59	65	72	80	―	未達成	●人口減少により組織の維持も困難な集落が出ている。
		実績値	53	55	61					
3	健康寿命の延伸（歳）	目標値	―	男78.7歳 女83.5歳	男78.7歳 女83.5歳	男78.7歳 女83.5歳	男78.8歳 女83.6歳	男78.8歳 女83.6歳	判断時期未到来	―
		実績値	男78.7歳 女83.5歳	男78.4歳 女83.9歳						

地方創生交付金等事業　効果検証調書

資料２

事業No	地方創生交付金　種別	事業名称	担当課	頁
1	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施計画上乗せ交付分タイプⅡ	（仮称）勝山市観光まちづくり会社（公社）の設立事業	観光政策課	1
2	地方創生加速化交付金	越前加賀インバウンド推進事業		
3	地方創生推進交付金	越前加賀インバウンド受け入れ体制等整備事業		
4	地方創生拠点整備交付金	「勝山ニューホテル」のリニューアルによるリゾートブライダル推進事業		2
5	地方創生拠点整備交付金	勝山温泉センター「水芭蕉」リニューアルによる恐竜観光周遊拠点整備事業		
6	企業版ふるさと納税	勝山市まちなか誘客プロジェクト		
1	地方創生推進交付金	勝山市観光まちづくり株式会社によるふるさと回帰事業	ふるさと創生・移住課	3
1	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施計画上乗せ交付分タイプⅡ	内水面漁業振興計画の策定	農業政策課	
2	地方創生加速化交付金	九頭竜川鮎の地域ブランド化による漁業振興		
3	地方創生推進交付金	地域ブランド「九頭竜川勝山あゆ」を活かした観光振興事業		4
1	地方創生加速化交付金	福祉発！まちの経済活性化事業	健康長寿課	5
2	地方創生推進交付金	地域包括ケアビジネススタート事業		

地方創生交付金等　効果検証

<table>
<tr><th>事業No</th><th>事業名称</th><th>事業内容</th><th colspan="7">勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議　委員の意見</th><th>担当課</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1</td><td rowspan="4">（仮称）勝山市観光まちづくり会社（公社）の設立事業

【交付金名】
地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施計画　上乗せ交付分タイプⅡ</td><td rowspan="4">○（仮称）勝山市観光まちづくり会社設立に必要な資金・事業運営計画の策定
○勝山市に所在の登録有形文化財「旧料亭花月楼」のリノベーションに向けた改修費用（耐震含む）を見積もるための調査実施
○「ゆめおーれ勝山」等への無料公衆無線LAN整備</td><td colspan="7" rowspan="4">●「旧料亭花月楼」「ジオターミナル」「勝山市道の駅」の三拠点の一元的なマネジメントにより、市全体の観光消費額の増大を図るように。
●まちづくり会社の設立については、一定の効果を発揮しているものの経営計画等が不十分である。
●公衆無線LANの設置が進んでいない。
●誰をターゲットにしているのかが明確でない。（恐竜博物館やスキージャム勝山に来る人なのか、旧料亭花月楼を目的として訪れる人がいるのか）
●恐竜博物館やスキージャムからまちなか観光へと呼び込む施策をどんどん展開していくべき。（花月楼の割引券等の配布）
●まちづくり会社を中心とした活性化に向け、市民に対し設立経緯や目的を正確に発信し、正しい知識を持って、正しい意見を集めていく。
●まちづくり会社の活動内容を広く市民に知らしめる対応を市と商工会において積極的に発信する必要あり。</td><td rowspan="10">観光政策課</td></tr>
<tr><td colspan="2">本事業における重要業績評価指標（単位）</td><td>指標値</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>事業の効果</td></tr>
<tr><td>指標①</td><td>まちなか観光客数（万人）</td><td>目標値</td><td>27</td><td>27</td><td>30</td><td>33</td><td>40</td><td rowspan="2">未達成</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>実績値</td><td>24.7</td><td>22.8</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">2</td><td rowspan="4">越前加賀インバウンド推進事業

【交付金名】
地方創生加速化交付金</td><td rowspan="4">4市1町により「越前加賀インバウンド推進機構」を設立し、旅行・広告プロモーションのプロとコラボレーションした観光誘客を推進する。

○外国人の意向調査分析
○多言語ツール制作（パンフレット・DVD・HP）
○セールスコール・食事会の開催
○海外メディア向け広報・プロモーション
○各観光施設向けインバウンドセミナーの実施</td><td colspan="7" rowspan="4">●多言語化にこだわらず、英語表記のみを充実させることが優先課題と考える。インバウンドについては機構の動きとともに、市内のインバウンドニーズをしっかり見極める必要があり、その調査をする必要がある。
●どの国をターゲットにしているのかが明確でない。4市1町の観光資源を好んでくれる国をターゲットにする必要があるのではないか。
●インバウンドの国別実績が分かるとよい。今後の観光面等の伸びはインバウンドによるところが大きいと思われ、海外へのアピールをさらに続けてほしい。
●越前加賀に加え、滋賀近江まで加えた宗教から歴史街道へも効果的ではないか。
●ただ「越前加賀」というくくりでは、どのようなコラボ効果が期待できるのか、あまりピンとこない。</td></tr>
<tr><td colspan="2">本事業における重要業績評価指標（単位）</td><td>指標値</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>事業の効果</td></tr>
<tr><td>指標①</td><td>外国人観光宿泊客数（人）</td><td>目標値</td><td>3,500</td><td>3,800</td><td>4,150</td><td>4,550</td><td>5,000</td><td rowspan="2">未達成</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>実績値</td><td>2,689</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="6">3</td><td rowspan="6">越前加賀インバウンド受け入れ体制等整備事業

【交付金名】
地方創生推進交付金</td><td rowspan="6">4市1町により設立した「越前加賀インバウンド推進機構」のDMO化を進めながら、旅行・広告プロモーションのプロとのコラボレーションやICTを活用し、外国人観光客の受け入れ体制と滞在環境の整備を進める。

【平成28年度事業（全5カ年事業】
○ICT導入に係る調査・分析
○エリア内の公共交通・決済システム等の取組みに係る調査・分析
○周遊ルートにおいて外国人観光客等が円滑に行動できるために必要なツールの検討
○観光客に係る各種データ等の収集・分析方法の検討
○外国人観光客にとってストレスフリーな受け入れ体制及び滞在環境整備に向けた検討
○観光コンテンツの効果的な利用方法検討
○事業に係る中期計画（案）の策定</td><td colspan="7" rowspan="6">●全国的にインバウンド客は増加しているが、勝山はまだまだといった感じ。恐竜や平泉寺が主な観光資源というイメージ強く、加賀と切り離して戦略を立ててはどうか。
●外国人ニーズの調査をあまり難しく考えず、訪問からステイ終了までの動線（ツアー）を作り、必要な整備を考えるほうが見えてくるものが多いのではないか。
●プロモーション動画(white healing)は2016年11月23日より公開し、視聴回数が265回(2018/2/20時点)。これらの地域と連携する目的がはっきりしていない。
●事業自体は適切に実施されており、環境整備が着実に行われていることは評価される。ただし、KPIである外国人宿泊者数、および観光入込客数ともに、目標値を大きく下回っていることには問題がある。宿泊者数、入込客数の減少の原因を明確にしたうえで、増加につなげるための工夫が望まれる。
●語学知識を持つ人材の募集により、インバウンド促進を図ることも重要。民間意見の吸い上げも可能となり、主婦層や学生、県外からの転入者等には魅力的なものになるのではないか。県通訳協会との連携も視野に。資格を必要としない通訳ボランティアも最近はあるようだ。</td></tr>
<tr><td colspan="2">本事業における重要業績評価指標（単位）</td><td>指標値</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>事業の効果</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指標①</td><td rowspan="2">外国人宿泊客数（人/年間）
※増加分のみ記載</td><td>目標値</td><td>250</td><td>300</td><td>350</td><td>400</td><td>450</td><td rowspan="2">未達成</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>△ 810</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">指標②</td><td rowspan="2">観光入込客数（千人/年間）
※増加分のみ記載</td><td>目標値</td><td>50,000</td><td>50,000</td><td>50,000</td><td>50,000</td><td>50,000</td><td rowspan="2">未達成</td></tr>
<tr><td>実績値</td><td>△37,666</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

事業No	事業名称	事業内容	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議　委員の意見							担当課
4	「勝山ニューホテル」のリニューアルによるリゾートブライダル推進事業 【交付金名】 地方創生拠点整備交付金	勝山ニューホテルを中心として市内の魅力ある観光資源を活用した勝山ならではのロケーションの中で様々な「リゾートブライダル」を提案・PRするとともに、観光地での結婚式後の披露宴会場や参加者の宿泊においてホテルを利用してもらうため、老朽化している箇所の改修を行い魅力を高める。 ○１階リニューアル工事 ○２階リニューアル工事 ○スカイラウンジリニューアル	●宿泊者受入れや各種会合場所と考えるならば、継続していくべきべきと考える。 ●ニューホテルは勝山市の規模を考えると非常に優れた宿泊施設だと思う。指定管理者が変更になったことにより、レストラン等の評価も上がっているように感じるため、強みを生かした活用をさらに進めてほしい。 ●リニューアルするのは重要であると思うが、ブライダル事業よりも、外国人も含めた観光客をターゲットにしたリニューアルの方が良いのではないか。PRにしてもゼクシイなどを活用できないか。 ●婚礼組数の実績が目標を上回っていることは高く評価できる。ただし、ホテル売上額や宿泊者数の伸びが目標値を大きく下回っていることが課題である。引き続き、集客増への工夫が望まれる。 ●恐竜展示に見守られながらのイベントは親子連れに大変喜ばれると思う。七五三等での利用も面白いのではないか。							観光政策課
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H28	H29	H30	H31	H32	事業の効果	
	指標①	勝山ニューホテル売上（千円） ※増加分のみ記載	目標値	41,299	12,166	3,438	6,215	4,438	未達成	
			実績値	3,774						
	指標②	勝山ニューホテル婚礼組数（組） ※増加分のみ記載	目標値	0	1	1	2	2	達成	
			実績値	2						
	指標③	勝山ニューホテル宿泊者数（人） ※増加分のみ記載	目標値	1,223	263	263	262	360	未達成	
			実績値	△885						
5	勝山温泉センター「水芭蕉」リニューアルによる恐竜観光周遊拠点整備事業 【交付金名】 地方創生拠点整備交付金	市民向けの健康増進施設「勝山温泉センター水芭蕉」を現在の機能を残しつつ、恐竜のイメージにマッチした新たなアミューズメント機能を有する温泉へと改修し、まち全体として進める恐竜ブランド化をさらに加速させる。 ○浴室改修 ○脱衣室内装改修と機械室出入口新設 ○屋外休憩エリア新設 ○地下ピット拝観改修 ○設計監理委託	―							
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H29	H30	H31	H32	H33	事業の効果	
	指標①	温泉センター水芭蕉売上（千円） ※増加分のみ記載	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	判断時期未到来	
			実績値							
	指標②	温泉センター水芭蕉利用者数（人） ※増加分のみ記載	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	判断時期未到来	
			実績値							
	指標③	温泉センター水芭蕉利用者数のうち市外利用者数（人） ※増加分のみ記載	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	判断時期未到来	
			実績値							
6	勝山市まちなか誘客プロジェクト 企業版ふるさと納税	商工会議所・地元金融機関・地元の若手経営者と行政が協働して設立する勝山市観光まちづくり株式会社が「伝統的な食と文化の魅力」をテーマに地元区民・商店主と連携して実施する拠点施設の整備や着地型観光コースの造成及び都市圏観光業者への企画提案、周辺観光地との二次交通手段の確保等に向けた取組みを「企業版ふるさと納税制度」により支援し、まちなかへの誘客促進や中心市街地のにぎわい再生、観光消費額の拡大（しごとづくり）を図る。 ○旧料亭花月楼整備 ○まちづくり会社による着地型観光コースの造成や都市圏観光業者に対する企画・提案等の取組みに係る支援	●景観は良くなった。引き続き広報を徹底すべき。 ●花月楼はハード整備が終わり、一定の効果を発揮している。着地型観光の企画提案については、JR等との協議が進められているところである。 ●花月楼・ジオターミナル・道の駅は3点セットである。「旗振り役」を明確にするように。							
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H28	H29	H30	H31	H32	事業の効果	
	指標①	まちなか誘客プロジェクトによる観光客の増加数（人） ※増加分のみ記載	目標値	2,000	12,000	16,000	22,000		未達成	
			実績値	△19,520						
	指標②	まちなか誘客プロジェクトによる観光消費額の増（万円） ※増加分のみ記載	目標値	300	2,400	3,200	4,400		未達成	
			実績値	△5,691						

事業No	事業名称	事業内容	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議　委員の意見							担当課
1	勝山市観光まちづくり株式会社によるふるさと回帰事業 【交付金名】 地方創生推進交付金	勝山市観光まちづくり株式会社が、市内企業や市民、マスコミ、市外（都市圏）の大学生等を巻き込み、産官学金言の連携の基に、人口の社会減に歯止めをかけるため下記の事業を実施する。 ○市内企業や商工会議所とともに市内企業のインターンシップ受入や魅力の発信に向け、ふるさと回帰研究会を開催 ○市内企業のインターンシップ受入事業の実施とPR ○市内企業に係る情報発信 ○ふるさと回帰をテーマとした映画の制作と活用 ○勝山に対する愛着心醸成のためのプロモーション動画制作 ○勝山市観光まちづくり株式会社の運営拠点の１つであり、情報発信の拠点である「ジオターミナル」の整備 ○勝山市観光まちづくり会社の地域商社化に向けた取組み	―							ふるさと創生・移住課
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H29	H30	H31	H32	H33	事業の効果	
	指標①	勝山市内における新規学卒者の雇用者数　（人／年間） **※増加分のみ記載**	目標値	1	2	2	4	4	判断時期未到来	
			実績値							
	指標②	勝山市への転入者人口数　（人／年間） **※増加分のみ記載**	目標値	7	8	8	9	9	判断時期未到来	
			実績値							
	指標③	勝山市観光まちづくり会社及び関連会社の雇用者数（人／年間） **※増加分のみ記載**	目標値	3	5	1	12	3	判断時期未到来	
			実績値							
1	内水面漁業振興計画の策定 【交付金名】 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）実施計画　上乗せ交付分タイプⅡ	漁業者の収入向上に向け、アユ・イワナ等の食用淡水魚の市場全体及び内水面釣り客等の市場規模を分析し、市場の概況や今後の需給予想を立てるための調査を実施 ○勝山市管内における各魚種の漁獲・遊漁証発行状況等調査 ○福井県を含む全国における遊漁証発行状況及び内水面漁業振興策の状況調査	●坂井管区で実施されているフィッシュパスなどICTを活用した事業も検証し、事故者の減少と適正な漁業振興が進むといいとよいと思う。 ●鮎やイワナを気軽の食べることのできる店が増加していくとよい。 ●調査が適正に行われているのであれば、有効とみなされる。（最終的に調査の進捗状況が分かったうえで、評価と意見をしたいので、次年度以降に示してほしい）							農業政策課
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H27	―	―	―	H33	事業の効果	
	指標①	内水面漁業振興計画に係る事業に関係する漁業者の漁業所得向上（対H26）	目標値	―	―	―	―	10%向上	判断時期未到来	
			実績値	―						
2	九頭竜川鮎の地域ブランド化による漁業振興 【交付金名】 地方創生加速化交付金	評価の高まっているアユを活用した漁業所得の向上を図るため、アユの安定供給体制の確保と販路開拓・ブランド化に取り組む。 ○アユの安定的な共同集荷、釣り客からの受入、冷凍から出荷までの体制確立に向けた準備 ○九頭竜川鮎の商標登録と商談会等への参加によ　るPRの実施 ○急速冷凍機や冷凍庫等の購入	●鮎を代表に淡水魚資源は、全国的知名度があり、道の駅構想とも絡めてさらなる宣伝広報をすべき。 ●全国清流巡り利き鮎会において、2年連続準優勝という偉業をさらにPRし、ブランド化を進めて欲しい。 ●DMO事業の一環として推進すると効果的ではないか。 ●適正かつ着実に環境整備がなされている。今後、引き続き有効活用が望まれる。 ●一定程度、有効だったのだろうと考える。ただし、事業費に見合う売上額なのかどうかという点において評価がしにくい。							
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H28	H29	H30	H31	H32	事業の効果	
	指標①	アユによる漁業組合の売上額（千円）	目標値	16,590	17,598	18,606	19,614	20,623	達成	
			実績値	16,918						

事業No	事業名称	事業内容	勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議　委員の意見							担当課
3	地域ブランド「九頭竜川勝山あゆ」を活かした観光振興事業 【交付金名】 地方創生推進交付金	鮎のブランド化と安定供給体制の確保、鮎を用いた加工品の開発、県内外への強力なPR活動を実施し、平成32年オープン予定の「道の駅」や市内の飲食店等で鮎が食べられる環境を整える。それにより観光消費額の増加を図り、市内の漁業者や民間事業者等の所得向上につなげるとともに、働く場所の創出を図る。 ○急速冷凍、解凍、保存方法等の品質向上対策 ○鮎の食味品評会への出品 ○イベント等への出店、販売 ○加工品、道の駅弁当等の試作 ○各種検討会議の実施 ○道の駅における出店計画の検討 ○「九頭竜川勝山あゆ」の周知 ○食育事業や環境美化活動に係る取組み	―							農業政策課
	本事業における重要業績評価指標（単位）		指標値	H29	H30	H31	H32	H33	事業の効果	
	指標①	勝山市漁業協同組合と勝山市観光まちづくり株式会社、事業に関連する民間事業者の社員雇用人数（人／年間） ※増加分のみ記載	目標値	3	7	1	14	4	判断時期未到来	
			実績値							
	指標②	勝山市漁業協同組合の売り上げ額（遊漁証の販売額と鮎の販売額）（千円／年間） ※増加分のみ記載	目標値	700	750	750	750	750	判断時期未到来	
			実績値							
	指標③	観光入込客数（万人／年間） ※増加分のみ記載	目標値	5	5	5	5	5	判断時期未到来	
			実績値							
	指標③	観光消費額（億円／年間） ※増加分のみ記載	目標値	0.90	0.90	0.92	1.15	1.40	判断時期未到来	
			実績値							

<table>
<tr><th>事業No</th><th>事業名称</th><th>事業内容</th><th colspan="8">勝山市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議　委員の意見</th><th>担当課</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1</td><td rowspan="2">福祉発！まちの経済活性化事業

【交付金名】
地方創生加速化交付金</td><td rowspan="2">医療・看護・介護・福祉等の垣根を越えて高齢者の地域包括ケアを行う任意団体（ケアブレイクかっちゃま）の活動を充実・強化し、介護保険等では対応できない高齢者の生活ニーズを把握し、それを地域経済の活性化に結び付ける。

○高齢者の生活ニーズ調査実施
○事業実施主体（ケアブレイクかっちゃま）と事業賛同の地元業者が高齢者ニーズを情報共有し、それをマッチングにつなげるためのHP作成
○高齢者の生活を支援する商品開発
○買い物支援等の事業に携わるボランティア等の人材育成に向けた研修や講演会の実施</td><td colspan="8" rowspan="2">●実績を見る限り、事業費に見合う成果が得られていない。そもそもホームページやチラシでは、なかなか直接的な支援にはつながっていかないのではないか。
●買い物リハビリの取組みはとてもよいと思う。少子高齢化により、ボランティアの確保も難しくなると思われるので、高齢者向けたコンパクトシティの検討や販売車の推進、宅配業者による見守り活動支援など、3次産業との連携を推進していくとどうか。
●ケアブレイクの事業に賛同し、認証を受けた事業所数が目標値を大きく上回っていることは高く評価できる。ただし、買い物支援サービスの利用者数とお助けマンの養成数が目標値を下回っていることから、その原因を明確にし、増加に向けた取組みが必要と思われる。場合によっては指標の見直しも検討すべき。
●買い物支援サービスは今後、必要性がさらに高まると思う。PRを拡大していくべきである。</td><td rowspan="6">健康長寿課</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td colspan="2">本事業における重要業績評価指標（単位）</td><td>指標値</td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td colspan="2">事業の効果</td></tr>
<tr><td>指標①</td><td>健康寿命の延伸（歳）</td><td>目標値
実績値</td><td>男78.4
女83.9
実績は
H30.1</td><td colspan="3"></td><td>男78.8
女83.6</td><td></td><td colspan="2">判断時期未到来</td></tr>
<tr><td>指標②</td><td>ケアブレイクの事業に賛同し認証を受けた事業所数（社）</td><td>目標値
実績値</td><td>10
18</td><td>12</td><td>15</td><td>20</td><td></td><td colspan="2">達成</td></tr>
<tr><td>指標③</td><td>買い物支援サービスを利用した高齢者の数（人）</td><td>目標値
実績値</td><td>10
5</td><td>30</td><td>60</td><td>100</td><td></td><td colspan="2">未達成</td></tr>
<tr><td>指標④</td><td>お助けマン（ボランティア）の養成数（人）</td><td>目標値
実績値</td><td>20
0</td><td>25</td><td>35</td><td>40</td><td></td><td colspan="2">未達成</td></tr>
<tr><td rowspan="6">2</td><td rowspan="2">地域包括ケアビジネススタート事業

【交付金名】
地方創生推進交付金</td><td rowspan="2">医療・看護・介護・福祉等の垣根を越えて、高齢者の地域包括ケアを実践する任意団体「ケアブレイクかっちゃま」の活動を充実・強化することにより、介護保険等では対応できない高齢者の生活ニーズを正確に把握し、民間企業へフィードバックすることで新たなサービスを構築し、地域経済の活性化につなげていく。

【平成29年度事業（全2カ年事業）】
○中心市街地に位置する市内唯一のショッピングセンターで買い物をしながらリハビリに取り組むシステムの構築
○買い物後に商品を自宅まで自力で持ち帰れない高齢者向けの宅配システムにかかるニーズを調査・研究し、地元企業・商店との
　マッチングによる新たなサービス提供システムを構築
○終末期のニーズ把握や終活に関する相談に対応できるアドバイザー等の人材育成</td><td colspan="8" rowspan="2">―</td><td rowspan="6">健康長寿課</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td colspan="2">本事業における重要業績評価指標（単位）</td><td>指標値</td><td>H29</td><td>H30</td><td>H31</td><td>H32</td><td>H33</td><td colspan="2">事業の効果</td></tr>
<tr><td>指標①</td><td>ショッピングセンター売上額（万円）
※増加分のみ記載</td><td>目標値
実績値</td><td>12,175</td><td>3,498</td><td>3,568</td><td>3,640</td><td>3,731</td><td colspan="2">判断時期未到来</td></tr>
<tr><td>指標②</td><td>ショッピングセンター客数（人）
※増加分のみ記載</td><td>目標値
実績値</td><td>29,804</td><td>17,981</td><td>18,341</td><td>18,707</td><td>19,082</td><td colspan="2">判断時期未到来</td></tr>
<tr><td>指標③</td><td>買い物支援サービスを利用した高齢者数（人）
※増加分のみ記載</td><td>目標値
実績値</td><td>150</td><td>300</td><td>150</td><td>150</td><td>150</td><td colspan="2">判断時期未到来</td></tr>
</table>